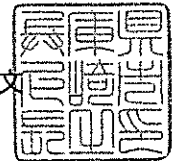


尼都施第3670号
平成20年10月20日

国 土 交 通 省
道 路 局 長 様

尼 崎 市 長
白 井



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）
（対：平成20年9月19日国道企第37号）

みだしのことについて、別紙のとおり回答します。

以 上
（都市施設計画担当課）

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 地方のニーズに応じた整備計画の策定

新たな道路の中期計画の策定にあたっては、地方のニーズに応じた道路ネットワークの強化、防災対策、環境対策などの計画を策定されたい。

○ 安定的な財源の確保

道路特定財源が一般財源化されても、地方が計画的に道路政策を推進できるよう、必要な財源を安定的に確保されたい。
また、道路財源の使途については、地方による裁量権の拡充を図られたい。（例：公共交通への公的資金の支援など）
将来の財政負担の軽減と持続可能な地方財政の運営が図られるよう、地方交付税の拡充など道路の整備や維持管理に係る地方の財源対策を強化されたい。

○ 補助事業等の弾力的な運用

街路事業は、都市計画に整合する完成形の整備としているが、本市の厳しい財政状況や、住民ニーズを踏まえると暫定整備や局所的な渋滞対策、既存橋梁の耐震化など、緊急的・暫定的な道路整備が求められている。
については、これらの整備が可能となるよう、補助事業等の採択要件の弾力的な運用を要望する。

○現状

- ・ 本市は大阪と神戸の中間に位置し、東西方向の通過交通が多く、特に国道43号沿道の環境問題を抱えている。
- ・ 昭和30年から50年代初め高度経済成長期に多くの橋梁が架設されており大規模な補修や更新の時期を迎えている。

○課題

- ・ 国道43号の環境対策は、国の責務において早期に環境改善が図られるようロードプライシングなど、より一層の施策の充実が課題である。
- ・ 既存橋梁の延命化を図るため計画的な維持補修を行っていく必要があるが、本市の厳しい財政状況の中において、市内の道路の維持管理にかかる費用も縮減せざる得ない状況である。
そのため、道路の整備に要する財源に加え、道路ストックの適切な管理に要する財源の確保が課題となっている。

国道43号の沿道環境問題に代表されるように、環境の改善が地域の大きなニーズになっていることに加えて、地球温暖化対策の面からも、自動車交通への過度の依存からの脱却、自動車交通の総量抑制が都市交通の重要な課題の一つと考えている。

環境面や交通弱者への対策上も、公共交通機関（とりわけ道路を利用するバス交通）の運営事業者に対する財政的支援や道路交通施策の支援（バス優先レーンなど）強化を図る必要がある。

一方、少子高齢化社会への移行に伴い、高齢者や弱者が安全にかつ安心して利用できる交通施設が必要とされており、併せて歴史的、文化的施設が集中する地域においては、その地域の町並みと調和のとれた沿道環境を創り出していくことも重要である。

これらのことから、今後の道路政策を進める上でのキーワードは「歩いて楽しいまち」の実現である。

言い換えれば、「景観に配慮した人優先の歩行空間の創出」であり、それを目指したハードとソフトの政策をバランスよく進めていく必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

兵庫県尼崎市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・良好な生活空間の形成 (歩いて楽しいまちの実現) ・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・国道43号の環境対策及び交通負荷の軽減 環境防災緑化、大気浄化施設等の整備 大阪湾岸線の西伸、ロードプライシングなどの自動車交通の転換策 ・交差点改良 ・歩道整備、自転車利用環境の整備 ・既存橋梁等の延命化を図るための計画的な維持補修	・沿道環境の改善 ・渋滞緩和と環境改善 ・歩いて楽しいまちの実現 ・道路施設の安全性の向上とライフサイクルコストの低減	・国による施策の拡充 ・地方の財源確保に対する国の施策の拡充